

2020年6月28日(日)朝10:10  
6月第4共同主日礼拝式説教

聖霊降臨第5、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

# 説教題：芥子種とパン種の譬えと説き明かし (32,33)

聖書:マタイ 13章31～35節

<口語訳>

新約聖書20～21頁

マタイ 13章31～35節

<新共同訳>

新約聖書25～26頁

マタイ 13章31～35節

<新改訳第3版>

新約聖書25～ 頁

マタイ 13章31～35節

<塚本訳>

新約聖書107～108頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇本日は**マタイ13:31～35節**の「**芥子種とパン種の譬えと説き明かし(32,33)**」の箇所です。
- ⇒「**毒麦の譬え**」と同様に、「**神(天)の国**」についてあかししておられます。
- ⇒「**芥子種**」は、外面の成長力を表現しています。
- ⇒「**パン種**」は、内面の膨張力を表現しています。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」、「**譬え**」によって、人の目に一見隠されている「**神の真理・真実**」を示しておられます。
- ⇒「**神の真理・真実**」は、人間の知恵には、隠されています。
- ⇒**神**は、**御子イエス・キリスト様**の弟子たちには、示して下さいました。それは、**神**が選ばれたことと失敗しつつも、主に従ったからです。

本論；

◇本日、**マタイ書13章31～35節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ13章31～35節**；使徒**マタイ**は、「**芥子種**」と「**パン種**」の「**譬え**」を通して、「**神(天)の国**」をあかしておられます。

◇**13:31～35節**；塚本訳◆  
**芥子粒の譬とパン種の譬**

「31 またほかの譬を彼らに示して言われた、「**天の国は芥子粒に似ている。ある人がそれを畑にまいた。**

32 これはあらゆる種の中で一番小さいが、育つと、野菜の中で一番大きくなり、(大きな)木になって、『**空の鳥が**』来て『**その枝に巣を作る**』ようになるのである。」

33 またほかの譬を彼らに語られた、「**天の国はパン種に似ている。女がそれを三サトン(二斗)の粉の中に混ぜたところ、ついに全体が発酵した。**」

34 イエスはこれらのことを皆譬をもって群衆に語り、譬を使わずには何も語られなかった。

35 『わたしは口を開いて譬にて語り、世の始め

から隠されていたことを打ち明けよう。』と、預言者をもって言われた言葉が成就するためであった。と、**使徒マタイ**は主のことばを語ります。

◇**マタイ13:31～32節**；「またほかの譬を彼らに示して言われた、「天の国は芥子粒に似ている。ある人がそれを畑にまいた(31)」、「これはあらゆる種の中で一番小さいが、育つと、野菜の中で一番大きくなり、(大きな)木になって、『空の鳥が』来て『その枝に巣を作る』ようになるのである(32)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**芥子種の譬え**」を通して、「**神(天)の国**」の「成長力」を示しておられます。

⇒「**芥子種の譬え**」は、「天の国は芥子粒に似ている」と、主が仰せのように、「**神(天)の国**」は、成長するということです。

⇒最初に福音の種が蒔かれた時、12名でした。しかも、社会的には、評価されない人々でした。

⇒主の弟子たちは、裏切る者あり、主の十字架を前にして、主を知らないという者もいたのです。「**御子イエス・キリスト様**」は、弟子たちの「**芥子種**」に期待されたのです。

⇒中世のアウガスチヌスは、ペラギュウス派の人々が性急に間違った立場の人々を教会から排除しようとした時、反対し、**神の恩恵**に頼ることを勧めたのです。「**芥子種のいのち**」が、**神**によって蒔かれているからで、忍耐して待つことを求めたのです。

⇒今日の教会でも、異なった教えを語る者がいます。同調はしてはいけませんが、主の憐れみを求めることです。

⇒教会の大小よりも大事なものは、「**聖霊のいのち**」が満ちていることです。**聖霊の充満**とは、罪の悔い改めの優先です。

⇒ヘブル10:36

神の御旨を行って約束のものを受けるため、あなたがたに必要なのは、忍耐である。

◇**マタイ13:33～35節**：「またほかの譬を彼らに語られた、「天の国はパン種に似ている。女がそれを三サトン(二斗)の粉の中に混ぜたところ、ついに全体が発酵した(33)」、「イエスはこれらのことを皆譬をもって群衆に語り、譬を使わずには何も語られなかった(34)」、「『わたしは口を開いて譬にて語り、世の始め

から隠されていたことを打ち明けよう。』と、預言者をもって言われた言葉が成就するためであった(35)」、「御子イエス・キリスト様」、「**パン種の譬え**」を通して、「**神(天)の国**」の「膨張力」を示しておられます。

⇒「**パン種の譬え**」が、示すのは、「**神(天)の国**」の内面の膨張力です。

⇒3斗(サトン16,50×3)粉は、100人の給食を賄うパンの量だそうです。

⇒主は、4,000人、5,000人の給食がお出来になりましたから、明らかに弟子たちの働きです。

⇒3斗は、決して少ないものではありません。その働きを生かすことが求められています。

⇒あの1タラントのしもべが、主人を疑って、土の中に隠すことが問題です。主のしもべには、与えられた賜物への忠実さが求められています。

⇒【口語訳】 イザヤ40:31

しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

結論；

◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。

◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。

◇本日は**マタイ13:31～35節**の「**芥子種とパン種の譬えと説き明かし(32,33)**」の箇所です。

⇒「**毒麦の譬え**」と同様に、「**神(天)の国**」についてあかししておられます。

⇒「**芥子種**」は、外面の成長力を表現しています。

⇒「**パン種**」は、内面の膨張力を表現しています。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」、「**譬え**」によって、人の目に一見隠されている「**神の真理・真実**」を示しておられます。

⇒「**神の真理・真実**」は、人間の知恵には、隠されています。

⇒**神**は、**御子イエス・キリスト様**の弟子たちには、示して下さいました。それは、**神**が選ばれたことと失敗しつつも、主に従ったからです。